

こんにちは。

次世代リーダー育成道場研修生としての留学も約半分が終わりました。

私は1月26日から31日までワシントン州に教育旅行に参加したので、それについて書きたいと思います。この教育旅行ではホワイトハウス等、多くの政治機関やスミソニアン博物館、戦争記念碑を訪れることができ、想像を上回る良い経験をすることが出来ました。

まずアメリカ各州からたくさん生徒が来ていて、友達を作る良い機会になりました。私はブラジルから二年前に移住してきたという女の子ととても仲良くなれました。ワシントンにいる間はハードスケジュールで、朝は7時半に起床し、9時頃にはどこかの訪問へ出かけ、18時か19時頃にホテルに戻ると22時までディスカッションをしました。しかし一日の大半を新しい友達と過ごすため、5日間とても親しく慣れたと思います。本当に盛りだくさんの5日間の中でも特に大切な思い出は2つあります。それはミシガン州からの上院議員2人共と面会し、インピーチメントトライアルを間近で見たという経験と、戦争記念碑の訪問です。

トランプ大統領は罷免されないことが決定しましたが、ワシントン旅行の時は、丁度証人を呼ぶか呼ばないか議論しているときでした。その議会を見ることが出来るのは本当に限られた人です。国会を傍聴するのと同じことですが、歴史上で今回を含め3回しか起きていないことが議論の内容でした。私の学校のメンバーのみ、計5時間議会の前の列で待つことが出来ました。日本の国会より本当に小さい議場でした。議会中に何を話しているのか少し分かったのが、自分の英語力の成長を感じ嬉しかったです。あまり政治の知識が無い中でしたが、日本との違いを多く発見でき、本当に貴重な経験でした。

戦争記念碑は第二次世界大戦やベトナム戦争のものなど数か所回り、最終的にアーリントン墓地にも行きました。第二次世界大戦の記念碑を見た時、その壮大さと床に書かれていたビクトリー“勝利”の文字に、自分があんなにショックを受けるとは思っていませんでした。私は戦争のことについてはきっと10%も学んでいないと思います。同行していた社会科の先生は、この記念碑には敗戦国のことや戦争に協力した女性のこと等含まれていないことが多すぎてアメリカでも賛否両論あると教えてくれました。それで少しホッとしました。とにかく今言えるのは、事実として記念碑を見て自分が個人的に、日本とは違うように戦争を見ていて感じてショックを受けたこと、歴史をもっとしっかり勉強する必要があると思えたこと、そんな考え方の違いが残る戦争はもう起きてはいけないという事だけだと思います。記念碑を訪れた後アーリントン墓地で、その土地が足りなくなっているという話は本当に聞きたくはなかったですが…

総じて、多くのことを学んで実際に感じる事ができた旅行でした。ゆっくり見られなかった部分はまだ一度訪れたいと思いますし、残りの留学生活もしっかり頑張りたいと思います。

白鷗高校12期生 次世代リーダー7期生 Y・A

